

助産雑誌 Back Number

★バックナンバーの取り扱いについて

- ①2015年6月号以降の雑誌は、医学書院受注センター(TEL:03-3817-5666)にて承ります。
 - ②それ以前の号についてはご注文や在庫のご照会などは、下記お願いいたします。
- 株式会社東亜ブック
〒178-0061 東京都練馬区大泉学園町 5-27-11
TEL:03-5947-4781 FAX:03-3923-4539

2017年5月号



特集

がんばってます、 新人助産師教育

新人助産師を迎える季節です。新人助産師は入職して何にいちばん困るのか、また先輩助産師および管理者はどのような工夫をしているのか。各施設で力を入れている新人助産師教育プログラムを紹介していただき、よりよい新人教育について考えます。

2017年4月号



特集

周産期のメンタルヘルスのために 助産師ができること、すべきこと

近年、日本の産後うつ病の発生率は依然 10%を超えています。日々妊産婦と接する助産師には、予防へのかかわりに期待がかかるでしょう。そこで、周産期のメンタルヘルスケアの社会的動向や、精神医学の基礎知識を解説し、具体的な施設での取り組みを紹介します。

2017年3月号



特集

産後ケアを 成功に導くコツ

産後ケア事業は今、どのように進んでいるのでしょうか。「子育て世代包括支援センター」の全国展開に向けた準備状況を含めて、現状の整理と課題をまとめます。各施設での取り組みをご紹介いただき、産後ケアをうまく軌道に乗せるためのコツを共有したいと思います。

2017年2月号



特集

院内助産の新しい形 クリニック・病院併設助産所の取り組み

現在、比較的大規模な病院での院内助産の開設は進み、助産師による実践が積み重ねられてきました。本特集では、クリニック内の院内助産と併設助産所にも注目し、助産師の業務内容を紹介いただき、やりがい、母子・助産師・施設のメリットについて考えてみました。

2017年1月号



特集

麻酔分娩に、 どう向き合うか

近年わが国では、麻酔分娩の実施件数が増加しています。抵抗を感じる助産師でも、避けては通れない話題です。麻酔分娩の場面における助産ケアの実践を学ぶとともに、助産師はどう向き合えばいいのか、体験を通して考えたことを中心にご紹介いただきます。

2016年12月号



特集

赤ちゃんのもつ力を 最大限に引き出す母乳育児支援

赤ちゃんはたくさんのパワーをもって生まれてきます。ポジショニングとラッチ・オンの主人公は赤ちゃんであり、母親はサポート役。授乳方法のこれまでの歴史を振り返るとともに、赤ちゃんが本来の力を発揮できる授乳方法と、退院後の支援について解説します。

2016年 特集

- 11月号 開業助産師の実践する助産ケア 後輩に伝え、残しておきたいこと
- 10月号 周産期救急で助産師ができること
- 9月号 オキシトシンと妊娠・出産・育児の関係
- 8月号 助産師が知っておきたい 妊娠期の「運動」
- 7月号 助産師教育で伝えたい、大切な助産ケア
- 6月号 次世代につなげる妊婦の栄養指導 厳しい体重増加制限のもとらす危険性
- 5月号 胎児心拍数モニタリングを極める 見逃してはいけないCTG波形